

# 穂穂北に輝く にぎりめし



令和3年度穂北中学校だより

12月号

穂北中HP

校長

伊東 泰彦



## 西都の未来を考える合同学習を実施！

10月28日(木)の午後、西都の未来について「私たち自身」が考えるワークショップ型の合同学習「Future We Want」を行いました。会場は西都原考古博物館のホールをお借りして、穂

北中と三納中の三年生が集まった合同学習です。ファシリテーターとしてごゆ財団の中山隆さん、モデレーターとして県キャリア教育コーディネーターの福島梓さん、特別ゲストとして椎葉村

の天野朋美さんと中川薫さん、妻高校の三年生9名に来ていただき、地域の未来づくりに自分たちがどう向き合っていくかについて考えを広げ、深める時間となりました。



西都の未来について「私たち」で考える Future We Want



ファシリテーター：中山さん、福島さん

ゲスト：天野さん、妻高校生



椎葉村の取組を知る

グループ別協議の様子

穂北・三納の良さを確認



高校生の取組を知る



中学生同士で学びをシェアリング



自分たちが考えたことをアウトプット



# 郷土PRポスター一優秀作品の紹介

竹尾純美鈴さん(2年)



黒木桜咲さん(1年)



橋口和真さん(3年)



藪押汐星さん(3年)



橋口珠奈さん(3年)



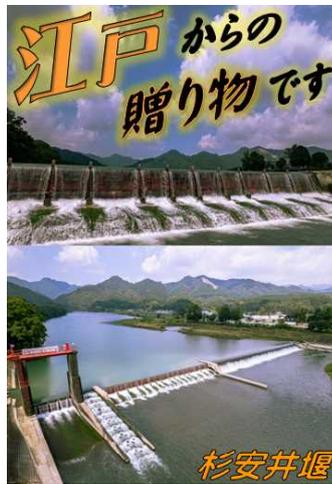
黒木衆莉さん(1年)



菊池莉央さん(1年)



佐土瀬康代先生



橋口紗季さん(1年)



三島直進さん(2年)



谷口紗雪さん(2年)



井上マリアさん(3年)



穂北中では、自分たちの郷土である穂北や西都をPRする「郷土PRポスター」の制作に全校生徒で取り組みました。まず最初に、ポスター作りの流れを理解した後、「強い言葉(キャッチコピー)のつくり方」という特別授業を受け、国語の時間に気に入った写真を選んでキャッチコピーを作りました。そして最後に、技術の時間を使ってそれをポスターに仕上げました。

初めての試みでしたが、なかなか個性的でユニークなPRポスターを制作してくれました。校内選考で選ばれた12作品が、学校の玄関、穂北支所の玄関、うなぎの入船の待合所、JA西都中央(JAバンク掲示板)などに掲示され、地域を応援しています。ぜひご覧ください。

# 中体連県大会、頑張りました！

中体連秋季大会の県大会が、11月6・7日に開催されました。本校からは、女子バレー部、ソフトテニス女子個人戦（上米良・勢井ペア）、バドミントン男子シングルス（橋口慶到さん）、陸上女子800m（小山凜乃さん）が出場しました。結果は、女子バレー部1回戦惜敗（対宮崎日大中0対2）、ソフトテニス1回戦惜敗、バドミントン1回戦勝利・2回戦惜敗、陸上決勝進出ならずでしたが、どの部・選手も次につながる大きな経験を積むことができました。



# 穂北中から文化の風を！

本校生徒の作品が、西都市内の各所に展示され、文化の風を吹かせています。右ページ掲載の「郷土PRポスター」の他、西都郵便局から依頼を受けて文化ボランティアスタッフ（穂北中Free Stuff）が制作した「年賀状啓発ポスター」が西都郵便局と上穂北郵便局に、西都市教委からの依頼を受けて制作した小中学校作品展の立看板が掲示されたり…と、壽き田の里から文化の糧を届けています。



古墳時代の西都には優れた文化がありました。このことについて、市民会館長米良美一さんは「現代の西都人にも古代国家の遺伝子が入っているはずで市美展に出てくる作品も皆うまい。この地には多くの宝が眠っています」（宮日新聞「市民会館の役割」と言っておられます）。私達はこの言葉に影響を受けこの看板をデザインしました。古代西都の象徴・コノハナサクヤヒメが私たち西都の子とも見守っています。前方後円墳に見立てた「鍵穴」の中には、私たちも持っている潜在能力や可能性という宝が眠っています。私たちが鍵穴を開けて、その宝を開花させていくのは私たち自身です。

米良さんは「若者が好むのは文化が薫りロマンをかき立てられる街」とも言っておられます（同紙）。私たちも「小中学生の作品で、西都に文化の薫りとロマンをかき立てたい…」という思いを込めています。

郵便局に掲示されているポスター

小中学校作品展の立看板



# 穂波 寿き田の里

## 「記紀の道」考

我が西都市には「記紀の道」という

何とも古代ロマンあふれる観光名所が整備されている。日向三代の神話に出てくる逢初(あいそめ)川や無戸室(むつむろ)児湯の池などが太古から変わらぬ姿のまま佇んでおり、それらを結ぶ散策路が古代情緒あふれる小川沿いに整備されているのだから、歴史好きにはたまらない「考古的遺物と神話伝承が凝縮するエリア」演出である▼記紀編纂一三〇〇年から一年が経った今年、そんな記紀の道にフオーカスした映画『みちのみちのり』が製作され先日先行上映された。映画は、記紀の道と日常的に関わりを持ち続ける地域住民の方々の普段の姿が淡々とドキュメンタリータッチで描かれていて、それが先述した神話伝承地の古代史的魅力を際立たせていると感じた▼映画の中で特に印象的だったシーンは次の二つである。一つは都萬神社の方々が日向灘にみそぎに向かう際にくぐり抜けた、木立の中のトンネル様のコリドール(回廊)である。暗い森の奥に見える光に向かつて回廊をくぐり抜けていく姿は、「日常としての現代と神話の舞台とを結ぶタイムトラベル」のようであり、実は記紀の道自体にもそんな意味があることを暗示しているように思えた。もう一つは逢初川にホタルが飛び交うラストシーンである。ホタルの放つ光は求愛行動だそうであるが、瓊瓊杵尊(ニギハヤヒ)が逢初川で木花咲耶姫(コノハサキヒメ)に求愛する神話の名シーンが、ホタルの光にオーバーラップされて実に見事なエンディングだと感じた▼映画館から出てくる時にお決まりの高揚感から、その日のうちに記紀の道歩いてみた。逢初川でふと思いだし、映画のパンフレットチラシをとりだしてみると、表には木立のコリドールが、裏にはラストシーンのホタルが掲載されており、映画制作者の術中にはまっている自分に気付かされ、実におもしろい一日となりました。

(校長 伊東泰彦)



装いを新たにしました  
シンボルツリーの姿



## 自分たちの手で学校を！

### 【12月・1月の主な行事】

#### 12月

- 4日…授業日(2年生のみ)
- 6・7日…みやざき学力調査
- 17日…校内ロードレース大会
- 20日…しめ縄づくり
- 23日…終業式
- 24日～冬休み
- 24日…西都市中学校生徒フォーラム

#### 1月

- 6日…始業式
- 7日…5教科グランプリ
- 12・13日…実力テスト
- 19日…新入生説明会
- 26・27日…私立入試

生徒会生活委員会による  
環境整備の様子

